

# 自治大卒業生の声

## 自治大学校卒業生（第1部課程第141期）

千葉県 富田 聖也

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

### 1 はじめに

自治大学校第1部課程第141期卒業生を代表し、本稿を書かせていただきます。

私自身、第1部課程研修生としてだけでなく、マネジメントコース研修生としても1年間自治大学校でお世話になりました。自治大学校研修のお話をいただいた際、従来の「4か月半」ではなく「1年間」と上司の方から説明をいただいたときはとても驚いたことを今も覚えています。

立川で過ごした1年間は非常に思い出深く、濃厚でしたが、ここでは約4か月半にわたる第141期研修に焦点を当てて、振り返ってまいります。

### 2 第141期研修のはじまり

私自身はマネジメントコース研修生として、第141期研修が始まる直前までは自治大学校の寄宿舎で生活しながら、教務部で勤務をしていました。研修開始約1か月前の9月からは、日中は業務、夜や休日はeラーニングなどの事前課題をこなす日々でした。思っていた以上に量があり、途中まではeラーニングの内容をノートに取っていましたが、後半は妥協してしまいました。もっと計画的に行うべきだったと反省しました。

第141期研修は10月中旬から開始のため、開始時点では立川に住んでから既に半年が経過しており、環境には慣れていました。しかし、始まる直前にもなると、これから一緒に研修を受ける全国から集まる研修生はどんな方が来るのか、どんな研修生活が待っているのかと、期待と不安を抱えて

いました。

集まった第141期研修生は計45名。北は青森から、南は宮崎までと、全国から同期となる仲間たちが自治大学校に集結しました。全員が期待と不安を胸に抱いたまま、研修が始まりました。

### 3 法律課目等について

研修前半は、憲法や民法、地方公務員制度、地方税財政制度などの法律・経済系課目の講義や演習が主となります。

講師は各分野の第一人者の方、地方公務員制度等に深く関わった総務省OBの方等で、難しい部分もありつつ、奥深い話、裏話をたくさん聴くことができました。

そんな中で、最初の難関は効果測定（筆記試験）と、法律課目のグループ演習です。私自身、法務経験も無ければ、法学部出身でもないので、覚悟はしていましたが、かなり苦戦しました。

効果測定は、教科書、講義レジュメ、過去問をひたすら見返しながら、毎晩自室や図書室で勉強していました。社会人になってからここまで勉強したのは初めてだったかもしれません。試験直前は、研修生同士で情報交換も行いました。自分の盲点に気付くきっかけになりましたし、不安を払拭できたので大変助かりました。

グループ演習は1班5、6名で行いました。同じ班のメンバーには、たくさん助けていただきました。日中の講義終了後、夜に打ち合わせを行うこともありましたが、終わった後にみんなで夕飯を食べに行っただけのいい思い出です。

## 4 講義・演習について

前述の法律・経済課目と並行して、たくさんの講義、演習も受講します。

講義については、法律・経済系課目と同様に各分野の第一人者の先生方が御出講くださいます。普段聴くことができないような話が多く、刺激も受けますし、贅沢な気持ちにもなります。講義の中ではグループワークの時間が設けられるものもあり、研修生同士で意見交換がなされるほか、発表もありますので、緊張感を持って臨むことができました。

演習については、事例演習、ディベート型演習、条例立案演習など、グループごとに考えを取りまとめ、グループ同士で意見を交わしあうもの、そして、研修で一番の肝とも言える政策立案演習がありました。それぞれ提出物が多く、1月はほぼ毎日何かの期限日となっており、大変だった記憶があります。これらの演習が本格化したのは年末年始の休暇を終えてすぐのことでしたが、これらと格闘している間に気付けば3月1日の卒業式を迎えていました。たくさん議論を交わす中で、時には壁にぶち当たったり、意見が合わなくなったりしてしまう場面もありましたが、そこも含めて成長につながったと考えています。

## 5 研修期間中の生活について

研修期間中は、寄宿舎に入寮し、研修生同士で共同生活をします。自治大学校の研修において、もっとも楽しむべきは、寮生活です。

各階には談話室が設けられており、每晚集まっては、地元の話、仕事の話、趣味の話などで盛り上がっていました。研修生の派遣元からは、お酒やジュース、お菓子におつまみと…たくさん応援物資が送られてくるため、ありがたく頂戴しました。私はお酒が飲めないので、ジュースやお菓子を他の研

修生より多くいただいたかもしれません。

また、これまではコロナ禍ということもあり、イベント類も自粛されていましたが、第141期では「味覚祭」という、各地の名物料理・酒をみんなで持ち寄って楽しむ食事が復活しました。米沢牛と宮崎牛の焼肉の食べ比べをはじめ、寿司、スイーツなど…大変贅沢させていただきました。

このほか、研修生同士で登山、食べ飲み歩き、観劇、誕生日会、卒業旅行などがありました。全てが非常に思い出深いものになっています。



フロア卒業旅行で箱根に行きました。コテージでの集合写真です。(大雪で寒かったため、厚着です…)

## 6 おわりに

こうして第141期研修を振り返ってみると、最初は「長そう」と思って始まった研修も、あっという間に終わり、ここには書ききれないくらいたくさんの経験、思い出を得ることができました。

仕事の一環として研修に行かせていただいています。言葉選ばずに言うと、自治大研修は「最高だった」の一言に尽きます。大変なことも多くありましたが、全てが私の財産です。講師の皆様、自治大学校職員の皆様、研修生同期の皆様、このような機会を設けてくださった派遣元の千葉県庁の皆様、全てに感謝しております。ありがとうございました。